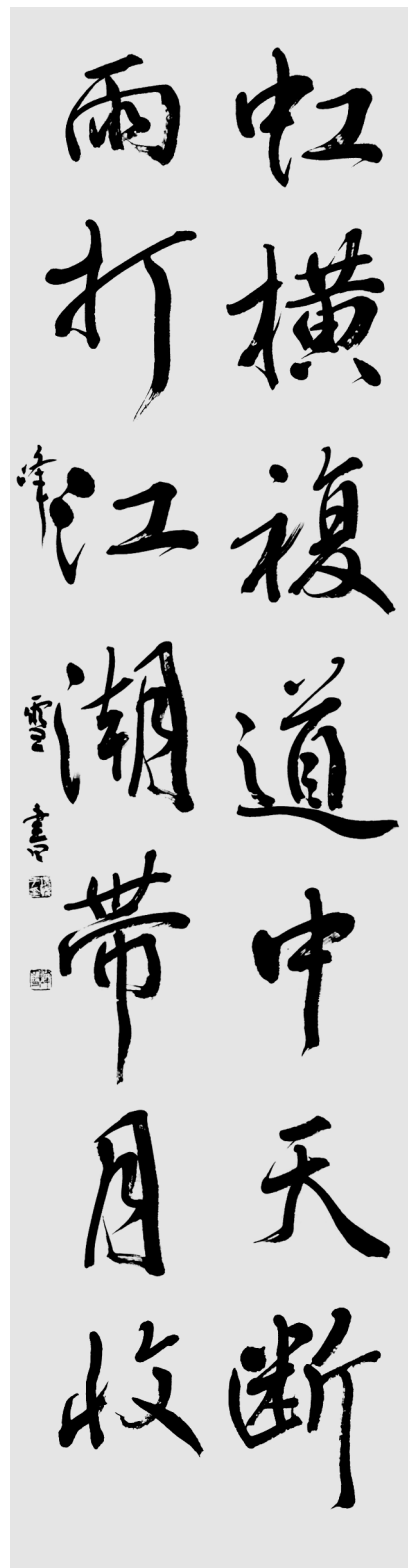




条幅規定

成家 堺 峰雪

無理のない用筆で字形よく余白が美しく、手本に忠実に書けています。たゞ、作品としては、文字の大小、墨量の変化、線の強弱など、もう少し自己主張がほしい感じもします。

条幅随意

師範 水津美智子

書きぶりが自然で、何げなく書いているように見えるが、意表を突いた構成が、詩情によくマッチし、好感が持てる。また詩情に合った墨色を研究すれば更に良い作品になるでしょう。

条幅随意(臨書)

師範 徳永 紫陽

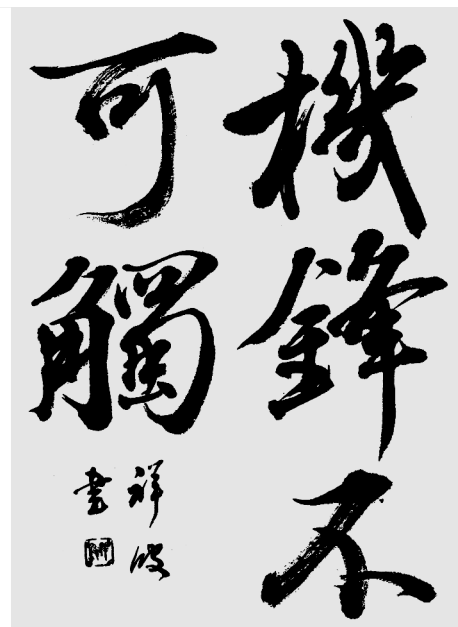
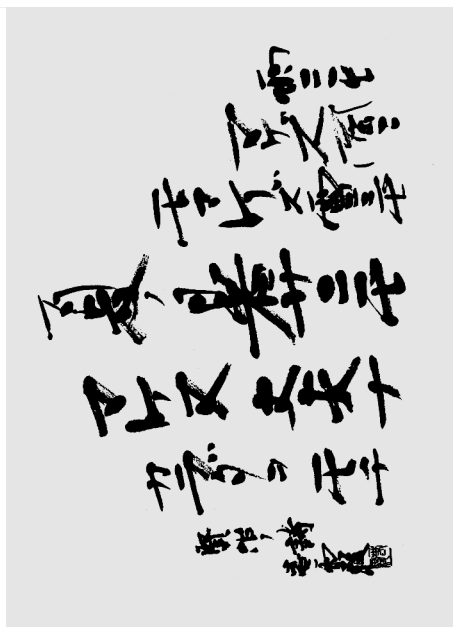
凛とした強靱な線質と多宝塔の特徴をしっかりと踏まえて、古典研究に対する真摯な取り組みの姿勢を感じる。古典はすべての書作品の栄養素となるもの。これからの精進に期待。

半折 1/2 横

師範正 瀬戸 和人

直線的表現で安定した作風。

前半二行の大胆な思い切りのよい大字と後半二行の引き締った小字とまわりの白のバランスに爽快さを感じる。うまいビールの音が響いている。



半紙規定

師範 豊嶋 祥波

運腕の大きい筆法で空間を捉え、真摯に制作する姿勢に好感を持つ。一点一画に対する線へのこだわりが完成度の高い作品となった。

半紙随意

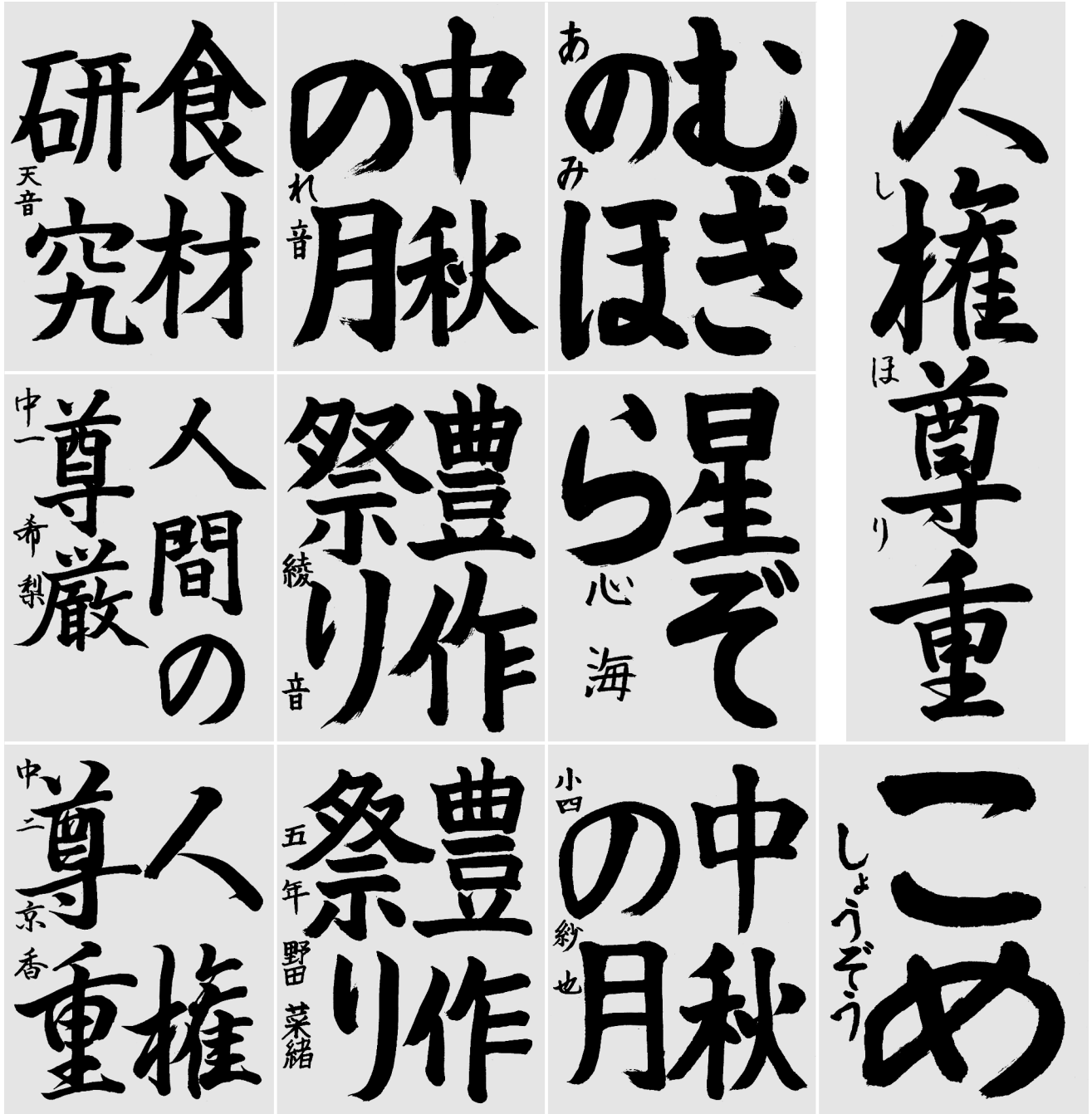
成家 秋永 春霞

手慣れた用筆で表現され、完成度の高い作品であるがや、魅力不足。未完成でも良い、新しい春霞ワールドに期待したいものです。

半紙随意(臨書)

師範正 角大鳥居美

習熟された用筆で、紙面にバランスよく収まり、細やかな神経と、線の充実が、顔法の真髓を見る安堵感のある白眉の作である。



学生部条幅 (1/4)

中二 準四段 藤本しほり

中学二年生になり、行書のリズムに慣れ、伸びやかに書けています。上位有段者にも負けない力の持ち主です。これからも頑張ってください。

内田 あみ

小二 準6級

“の”の字が少し元気がないのはおしかったのですが、のびやかな線です。練習をしながら書いています。名前もとてもじょうずです！

山崎 心海

小三 準2級

むずかしいかたいでしたが、元気よく書けています。一まいでも多くの練習をして、さらに上をめざして下さい。がんばっています。

大北 紗也

小四 準二段

き本の筆づかいがしっかりとできています。漢字よりも平かなを少し小さく書くことさらによくなります。がんばってください！

日高 玲音

小四 準初段

明るくすっきりとしたのびやかな線です。形よく書けています。これから“ハネ”を丁寧に書くことさらによくなります。

松浦 綾音

小五 三段

力のこもった強い線です。難しい課題でしたが名前までしっかりと練習のできた、力強い作品です。

野田 菜緒

小五 2級

“豊”の中心が少しずれた点はおしかったのですが、伸びやかな線で名前まで一生けん命に書いています。今後、期待大です。

友成 天音

小六 四段

すっきりとした線、難しい課題を上手にまこめ、形よく書けています。今後はもう少し強い線を意識し、上段を目指しましょう。

新井 希梨

中一 六段

全体的に少し小さい点がおしいのですが、形よく、明るく書けています。思い切りの良い線で、“特待生”を目指し頑張ってください！

吉田 京香

中二・三 五段

伸びやかな線と行書の自然な流れが上手く調和し、明るい作品になりました。確かな力量を感じます。今後、さらに期待！

# 硬筆部最優秀作品

(8月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

ねずみの おどり  
をみてくたさい。  
おれいに 二つち  
をあげましよう。  
さようゆりな

お母さんのかたのかばん  
には、包帯、お薬、配給の  
きつぷ、大事な米で作った  
おにぎりが入っています。

クラブ活動、委員会や係の活  
動など、みなさんは、さまざま  
な活動に参加していますね。夏  
休みを前に、四月からの活動を  
報告書にまとめましょう。

夜遅く、出窓で見張っていた弟が、  
帰ってきたよと叫んだ。茶の間に  
座っていた父は、はだして表へ飛び  
出した。防火用水おけの前で、やせ  
た妹の肩を抱き、声を上げて泣いた。

きつねの子が、  
丸木はしのたもと  
で、黄色いバケツ  
を見つけました。  
二年 工藤寧々

お母さんのかたのかばん  
には、包帯、お薬、配給の  
きつぷ、大事な米で作った  
おにぎりが入っています。

アキアカネは、秋風がふくころ、  
山から人里に下ってきます。青く  
すみ切った空、いばいに群れて  
飛ぶ様子は昔から多くの歌に、  
俳句によまれてきました。

ヨーロッパから見れば、日本は南の国  
で、東京の盛夏はグアム島と同じ暑さ。  
兼好が「あつき頃、悪しき住居はたへ  
難き」としたのは当然、古人は家の中  
を吹き抜ける風の道を大切にいた。

この様の国と、となりの  
国の真ん中にある湖の  
水を半分ずつ分けて  
田に引きたいのです。  
吉原うらら

クラブ活動、委員会や係の活  
動など、みなさんは、さまざま  
な活動に参加していますね。夏  
休みを前に、四月からの活動を  
報告書にまとめましょう。

夜遅く、出窓で見張っていた弟が、  
帰ってきたよと叫んだ。茶の間に  
座っていた父は、はだして表へ飛び  
出した。防火用水おけの前で、やせ  
た妹の肩を抱き、声を上げて泣いた。

残暑お見舞い申し上げます。  
まだ暑さが厳しく、さすがにお変わりない  
ものかと。元々、現地で今年の夏は  
格別です。  
あなたの好物のハロメロンを、贈りました。  
どうぞ、美味しくください。  
時折、柄に自愛ください。もう、もうお礼う  
ち上げます。  
杏果

京 百合菜  
小一 準8級  
マスいっぱい  
ゆりなちゃん  
のげんきがふ  
れいます。な  
まもしつかり  
とかけていま  
す。これから  
もがんばりま  
しょう。

工藤 寧々  
小二 準3級  
力づよい線  
で、元気がよ  
く書けていま  
す。むずか  
しい名前も、  
よく練習が  
できています。  
これからは、  
行の中心に  
よき気をつけ  
て書いていま  
す。

吉原 麗  
小三 準2級  
すつきりとし  
た線、明るく  
書けていま  
す。これは、  
行の中心に  
よき気をつけ  
て書いていま  
す。

岡野 亜美  
小四 準二段  
本文から名前  
まで、集中力  
をきき、とて  
もよい、形よ  
く書けていま  
す。良い線  
を持っています。  
今後は、行  
の中心に、さ  
らに期待大！

平田 結理奈  
小四 準2級  
ペンを上手に  
使っている。漢  
字と平仮名の  
バランスもよ  
く、まとまり  
のある作品が  
書けました。今  
後は、行の中心  
に、さらにつ  
けてね。

岡 くるみ  
小五 準五段  
明るくすつき  
りとした線が  
魅力的な作品  
です。漢字よ  
り平仮名をも  
う少し小さく  
書くこと、さ  
らに良くなり  
ます。がんば  
ってね。

佐藤 千夏  
小五 準四段  
素直な線で、  
一生懸命に練  
習してきた作  
品です。行の  
中心が少し右  
に流れた点が  
おもしろい。今  
後は、好感が  
もてます。期  
待大。

岩本 和夏  
小六 準五段  
温か味のある  
線で、最初か  
ら最後まで集  
中して書いて  
います。ペ  
ンの握り方に  
気を付けて、  
さらには、さ  
らに期待大！

平田 眞凜  
中学 準特待生  
大人顔負けの  
完成度の高い  
作品です。さ  
すが「準特  
待生」です。今  
後は、行の中心  
に、さらにつ  
けてね。

後田 康貴  
中学 六段  
勉強との両立  
が大変な中、  
ペンを上手に  
使っている。今  
後は、抑揚の  
変化を加え、  
リズムを、師  
範正「を」を  
目指して、頑  
張って下さい。

村内 緯子  
一般 師範正  
迷いのない線  
で、グイグイ  
と書き進み、  
生命力あふ  
れる作品です。  
今後は、抑揚  
の変化を加え  
、リズムを、  
師範正「を」  
を目指して、  
頑張って下さ  
い。

杉原 杏果  
一般 師範  
お手本をよく  
観察され、丁  
寧に書かれて  
います。今  
後は、抑揚の  
変化を加え、  
リズムを、師  
範正「を」を  
目指して、頑  
張って下さい。